切断自動配置ソフト

取扱説明書

Godo System Machine Corporation.

ソ フ ト ウ ェ ア 使 用 許 諾 契 約 書

この『ソフトウェア使用許諾契約書』（以下本契約という）は、合同システムマシン株式会社（以下弊社といいます）が作成、又は販売するすべてのソフトウェア（以下『本ソフトウェア』）に適用されます。すなわち、ソフトウェアの記録媒体の種類にかかわらず提供するソフトウェア、および関連する文書類のすべてを意味します。

１．弊社は本契約により、使用者に対し使用権を与えることに同意し、使用者は著作権法を厳守し、以下の各条項を承諾し、この使用権を契約者以外に譲渡、販売せず、かつ独占的な使用権を持たないことに同意します。

２．使用者は本ソフトウェアの全部または一部を複製してはならないものとします。但し、次の(1)号に該当する場合に限り複製することができます。
(1) 本ソフトウェアの安全対策上の理由により、別項に定める電子計算機１台（以下「指定計算機」といいます。）に限定し使用する目的で複製することができます。
但し、弊社が本ソフトウェアの複製を可能にする手当をしてあるソフトウェアに限られます。

３．使用者は別紙に定める指定計算機以外で使用する場合、次の各号に該当する事態が消滅するまでの期間、指定計算機以外の計算機で一時的に使用することができるものとします。
(1) 指定計算機が保守点検、調整、故障等の作業のため使用できない場合
(2) 指定計算機の据付が完了していない場合

４．弊社は使用者が意図した結果を得るために行った本ソフトウェアの選択、およびその適用性についての保証はしません。
本ソフトウェアの使用により直接的、間接的あるいは波及効果により損害を受けた場合、弊社では一切の責任を負いません。

５．本ソフトウェアを使用者が改変することは、弊社の文書による許可がない限り許容しません。
また弊社は使用者によって改変されたソフトウェアに関しては、一切の責任を負いません。

６．本ソフトウェアの版権は、弊社に帰属します。第２条に規定する複製物についても、その版権は弊社に帰属します。但し、本ソフトウェアが記録されている記録媒体は弊社には帰属しません。

７．使用者は本ソフトウェア、および複製物、ならびにそれ等の関連資料を秘密扱いとし、これ等を一切開示してはならないものとします。
使用者は本契約の有効期間中、およびその終了後も本契約に基づき知得した弊社の業務上の秘密を、第三者に漏洩してはならないものとします。

８．本契約は、使用者が本ソフトウェアを開封したときから、下記に定める各号により効力がなくなるまで有効に存続するものとします。
(1) 使用者は、弊社に文書で通知してから１ヵ月以内に使用権を終了させることができます。
(2) 弊社は、使用者が本契約に違反した場合、使用権を終了させることができます。

９．本契約による使用権を終了する場合、その日から起算して１ヵ月以内に本ソフトウェアの　オリジナルおよび複製物、印刷物等のすべてを弊社に返送するか破壊したことを証明する証明書を弊社へ返送することとします。なお、返送、破壊のためのすべての費用は使用者が負担するものとします。

１０．弊社は、本ソフトウェアの記録媒体であるマスターメディアが、物理的不良等により使用不能となった場合に限り、使用者との協議により同等品と実費にて交換することができます。
但し、マスターに限ります。

本セットに添付されているユーザー登録カードは、お客様と当社との連絡窓口となる大切なカードです。所要事項をご記入のうえ速やかに弊社までご返送下さい。
［登録カード］をご返送いただいた方にかぎり、メンテナンスの対象となります。

目　　次

１．概要 1

２．画面の説明 2

３．操作手順 4

４．各コマンド説明 5

４－１　部材データ入力 5
４－２　配置計算出力 7
４－３　原材情報印刷 10
４－４　切断指示書印刷 11
４－５　原板設定 12
４－６　初期設定 14
４－７　状況依存のヘルプ 16
４－８　バージョン情報 16
４－９　アプリケーションの終了 16

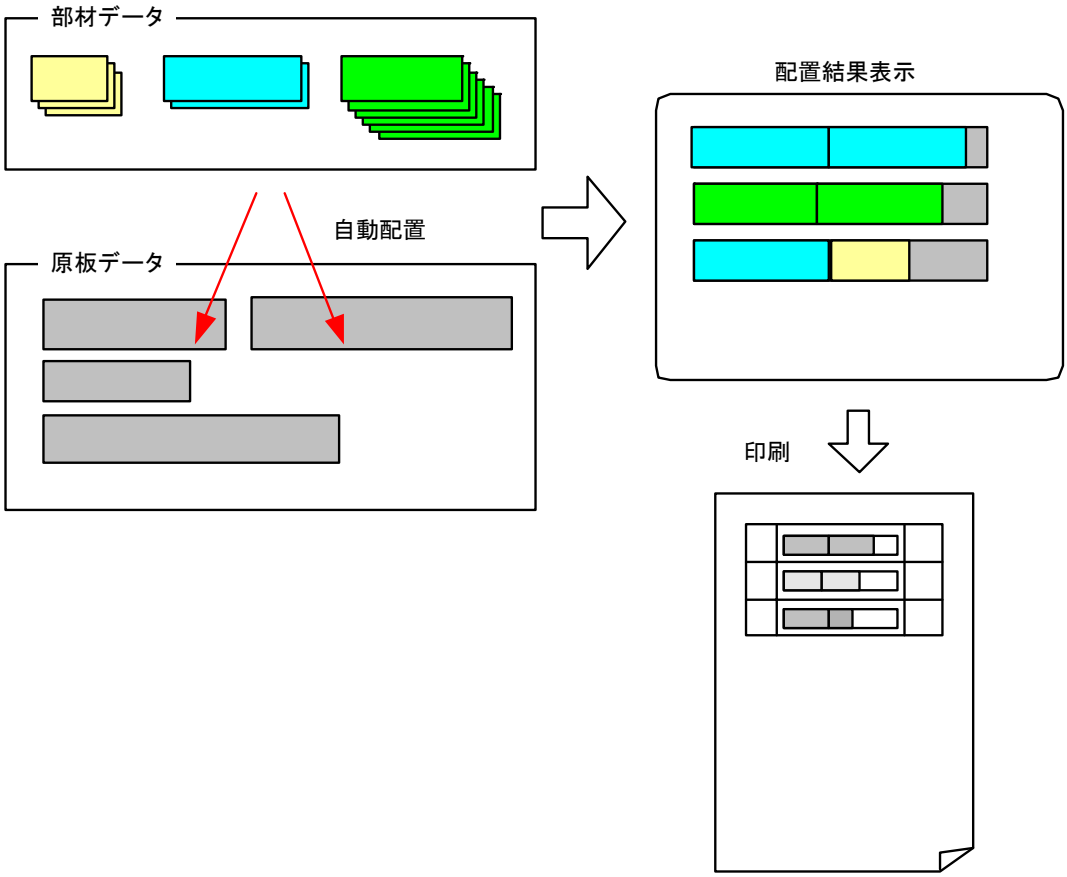
５．電卓機能 17

６．外部でデータを作成する場合の注意点 18

７．ハードプロテクトについて 19

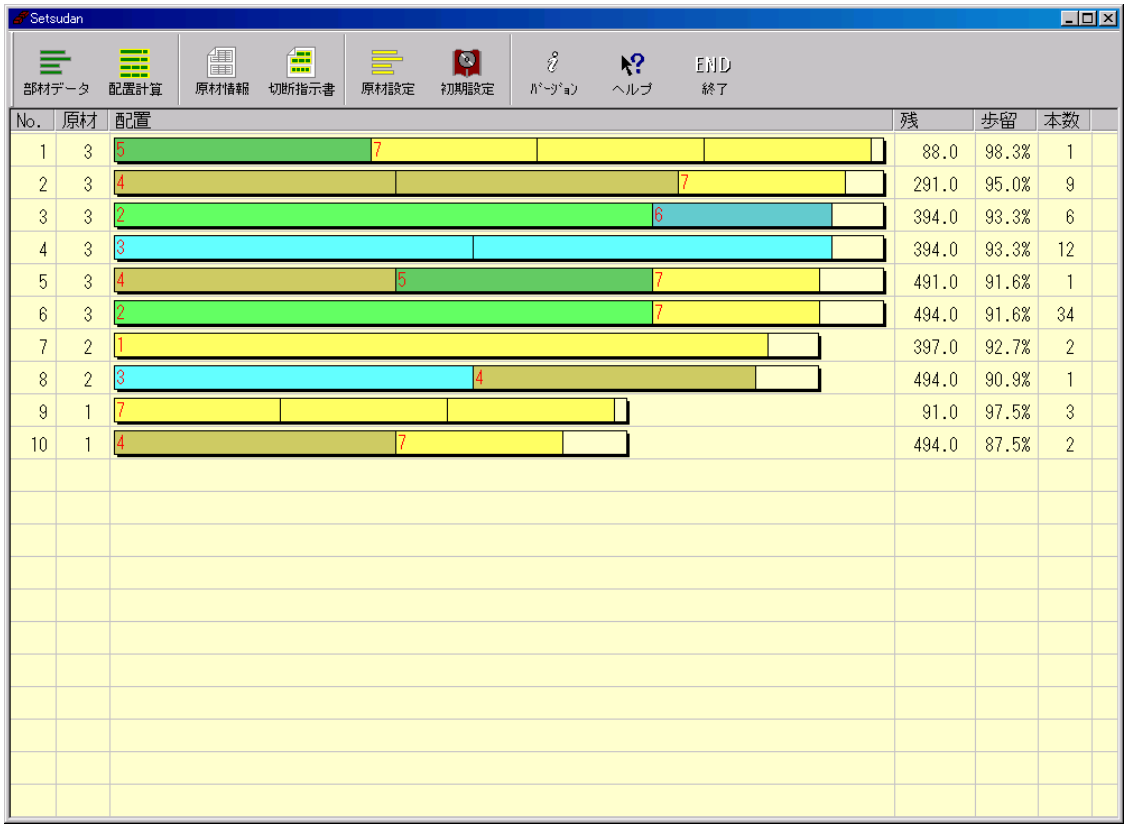
１．概要

*切断自動配置ソフト*とは、あらかじめ用意された原材に対して複数の部材を自動配置するソフトです。
配置された結果は原材別に画面に表示します。
また、プリンタにも印字されるのでカット作業の指示書として利用できます。



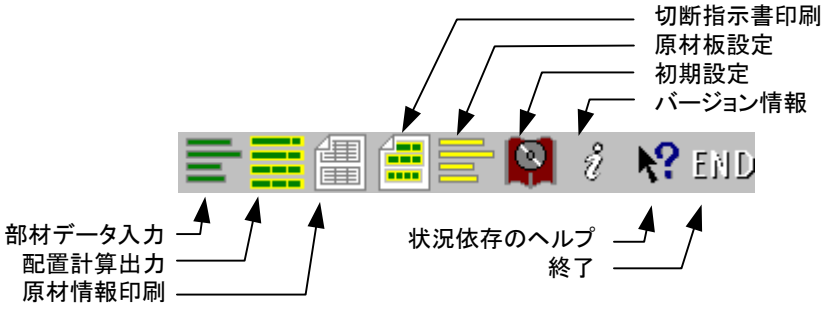
２．画面の説明

*切断自動配置ソフト*の画面は下図の通りです。（これは配置された結果の図です）



ツールバー

コマンド群が並んでいます。



コマンド	内容
部材データ	配置する部材データを入力します。
配置計算	配置を実行します。
原材情報印刷	原材情報をプリンタより出力します。
切断指示書印刷	切断指示書をプリンタより出力します。
原材設定	原材の情報を設定します。
初期設定	配置計算に必要な初期情報を設定します。
バージョン情報	バージョンを表示します。
状況依存のヘルプ	ヒットした部分に対応するヘルプ情報を表示します。
終了	***切断自動配置ソフト*** を終了します。

配置ビュー

配置結果のイメージ図が原材ごとに表示されます。

３．操作手順

*切断自動配置ソフト*によって原材・部材データを準備し、配置するまでの作業手順を説明します。

1. ソフトの起動
   切断自動配置ソフト を起動します。

2. 初期設定
   初期設定コマンドによって、配置計算に必要な初期情報を設定します。
   データに変更がなければ毎回行う必要はありません。

3. 原材データの登録
   原材データを原材設定コマンドにて登録します。

4. 部材データの入力
   配置する全ての部材データを部材データコマンドにて入力します。

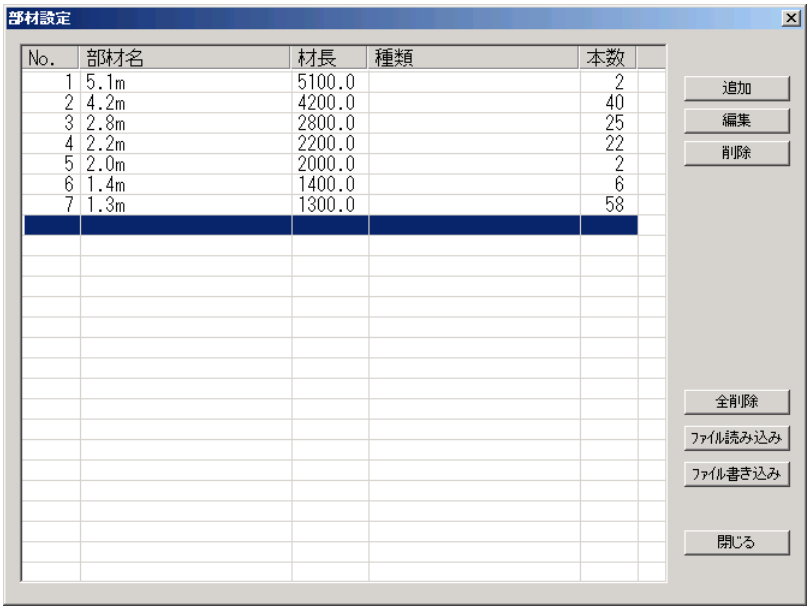
5. 配置処理
   配置計算コマンドを実行することにより、全ての部材データの配置を自動実行します。
   配置計算後、使用原材ダイアログを表示します。
   使用原材ダイアログを閉じると、画面の配置ビューに配置された結果イメージを表示します。

6. 指示書印刷
   原材情報印刷コマンドにて、切断情報をプリンタへ印刷します。
   切断指示書印刷コマンドにて、切断指示書をプリンタへ印刷します。

４．各コマンド説明

４－１　部材データ入力

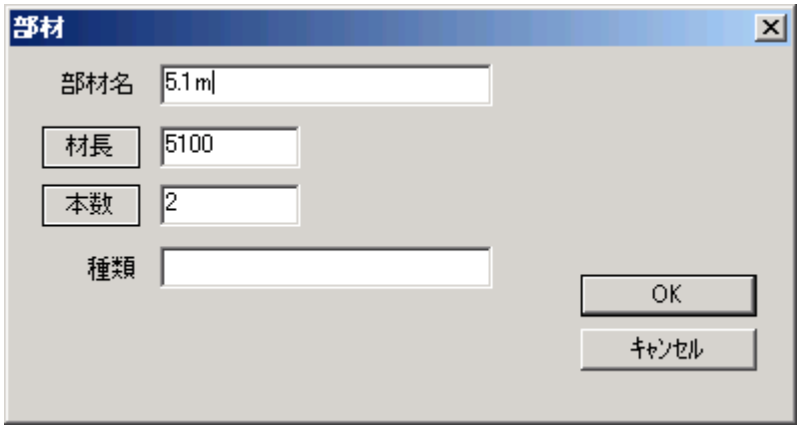
配置する全ての部材データの情報を入力します。
下記のような部材入力のためのダイアログボックスが表示されます。



データがある場所をダブルクリックすることで編集、データが無い場所をダブルクリックすることで追加になります。

追加	･･･	部材データを追加入力します。
編集	･･･	既に入力されている部材データの内容を変更します。 変更したいデータを選択してこのボタンを押してください。
削除	･･･	既に入力されている部材データを削除します。 消去したいデータを選択してこのボタンを押してください。
全削除	･･･	入力されている全ての部材データを削除します。
ファイル読み込み	･･･	ファイルから部材データを読み込みます。
ファイル書き込み	･･･	部材データをファイルに書き込みます。

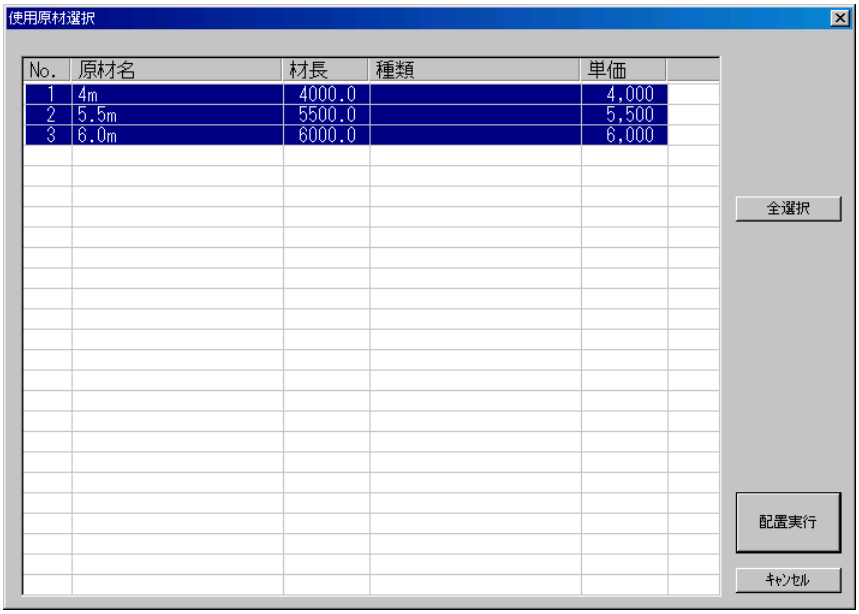
追加ボタンを押すと、さらに下記のようなデータ入力ダイアログボックスが表示されます。



部材名　　･･･　名称を入力します。
材長　　･･･　部材の寸法です。
本数　　･･･　部材の本数です。
種類　　･･･　部材の種類を指定します。同じ種類の原材にしか配置しません。

４－２　配置計算出力

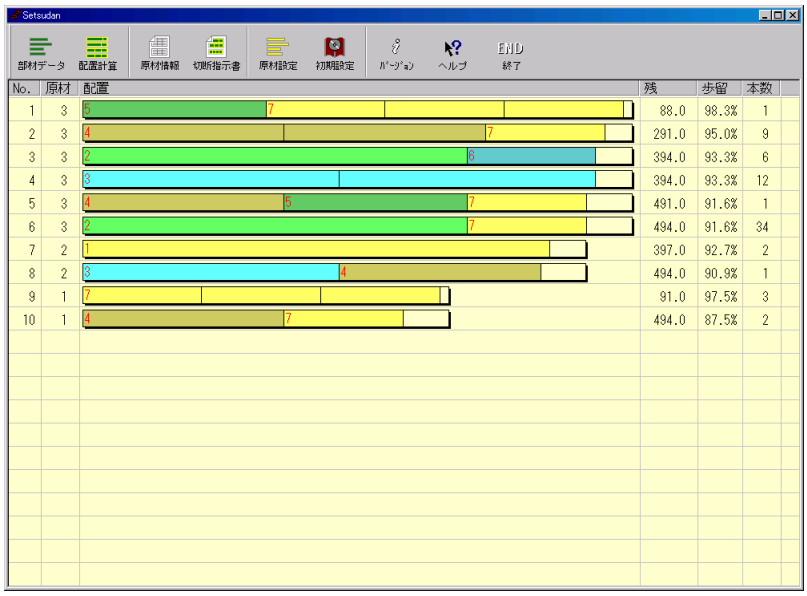
配置を実行します。
このコマンドを実行すると、使用する原材の選択画面が表示されます。



マウスで使用する原材をクリックしてください。
選択されるとカーソルが表示された状態になります。
CTRL キーを押しながら選択することで複数の原材を選択することができます。
また、SHIFT キーを押しながら選択することで指定された範囲の原材を選択することができます。
全選択ボタンを押すことで全ての原材を選択できます。

配置計算ボタンを押すと配置計算が行われ、使用原材ダイアログが表示されます。
ここで、使用原材の一覧とそれぞれの原材の使用枚数を確認できます。

使用原材ダイアログを閉じると、配置結果が配置ビューに表示されます。



部材の大きさが原材より大きくて配置できない場合や、用意した原材全てに対して部材が配置できない場合、下図のような画面が表示されます。

注意事項:

・キャンセルボタンをクリックした際の動作について

使用原材選択ダイアログで、キャンセルボタンをクリックすると、使用原材選択ダイアログを閉じてから、最後に配置計算を行った際の使用原材ダイアログが表示されます。（一度も配置計算を行っていない場合は表示されません）

・枚数が設定されている原材に部材を配置する場合について

原材に枚数が設定されている場合、配置計算を行っても、枚数の減算は行われません。
配置計算を行う前に、原材の枚数を確認してください。

・種類について

部材と原材の種類は、一致しないと配置は行われません。

４－３　原材情報印刷

プリンタの設定ダイアログボックスが表示されます。
接続されているプリンタの各種設定を行い、印刷を実行して下さい。
最適な用紙設定はA4サイズの縦です。

切断作業に必要な本数の指示書が印刷されます。
以下は印刷例です。

全使用原材情報

No.	原材名	材長	種類	単価	本数
1	4m	4000.0		4,000	5
2	5.5m	5500.0		5,500	3
3	6.0m	6000.0		6,000	63

全使用部材情報

No.	部材名	材長	種類	本数
1	5.1m	5100.0		2
2	4.2m	4200.0		40
3	2.8m	2800.0		25
4	2.2m	2200.0		22
5	2.0m	2000.0		2
6	1.4m	1400.0		6
7	1.3m	1300.0		58

(1/ 1)

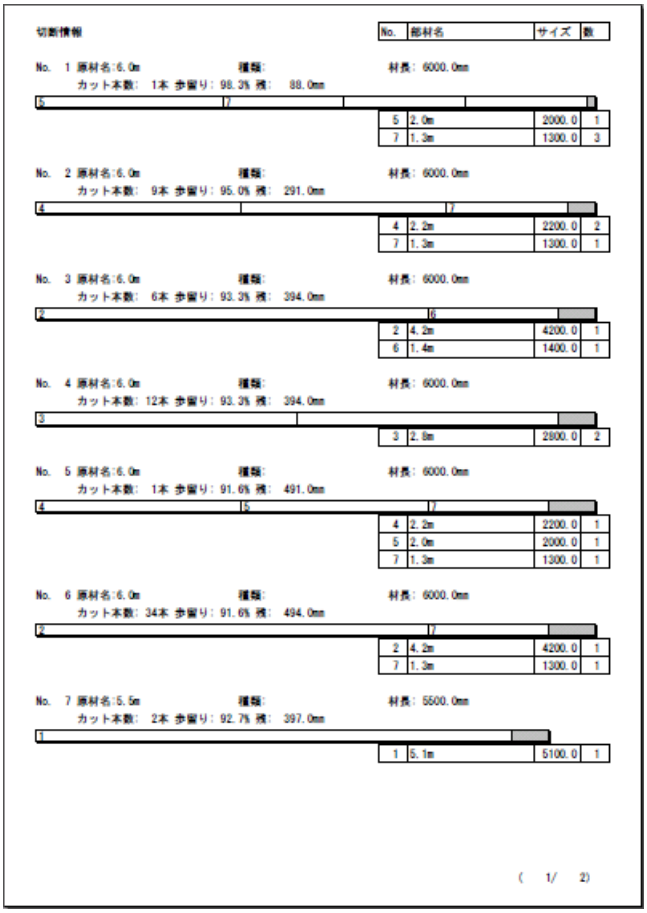
全使用原材情報　　使用した全原材の情報です。
- No.　…　原材の登録番号です。
- 原材名　…　原材の名称です。
- 材長　…　原材の寸法です。
- 種類　…　原材の種類です。
- 単価　…　原材の1本の価格です。
- 本数　…　使用した本数です。

全使用部材情報　　入力した全部材の情報です。
- No.　…　部材の登録番号です。
- 部材名　…　部材の名称です。
- 材長　…　部材の寸法です。
- 種類　…　部材の種類です。
- 本数　…　部材の本数です。

４－４　切断指示書印刷

プリンタの設定ダイアログボックスが表示されます。
接続されているプリンタの各種設定を行い、印刷を実行して下さい。
最適な用紙設定はA4サイズの縦です。

切断作業に必要な本数の指示書が印刷されます。
以下は印刷例です。



No.	・・・	配置番号です。
原材	・・・	使用する原材番号です。
配置	・・・	配置される部材です。
歩留	・・・	原材に対する部材の歩留りです。
本数	・・・	使用した本数です。

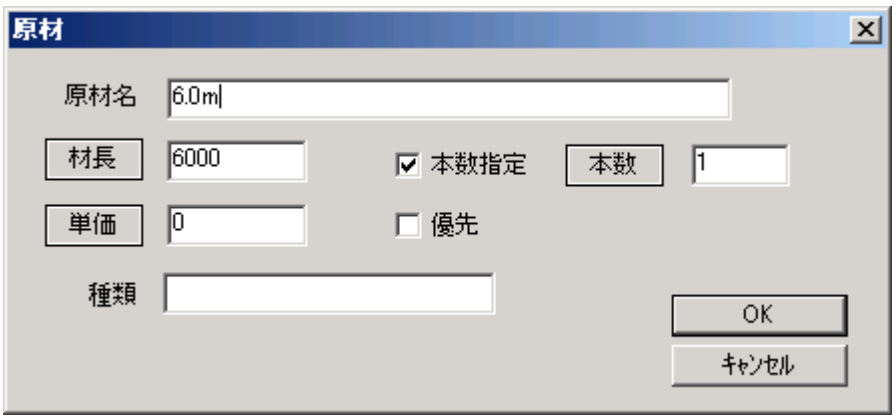
４－５　原板設定

原材の設定を行います。
配置時にどの原材を使用するかは、配置計算時に行います。
このコマンドを実行すると、以下の設定画面が表示されます。

データがある場所をダブルクリックすることで編集、データが無い場所をダブルクリックすることで追加になります。

追加	･･･	原材データを追加入力します。
編集	･･･	既に入力されている原材データの内容を変更します。 変更したいデータを選択してこのボタンを押してください。
削除	･･･	既に入力されている原材データを削除します。 消去したいデータを選択してこのボタンを押してください。
全削除	･･･	入力されている全ての原材データを削除します。
ファイル読み込み	･･･	ファイルから原材データを読み込みます。
ファイル書き込み	･･･	原材データをファイルに書き込みます。

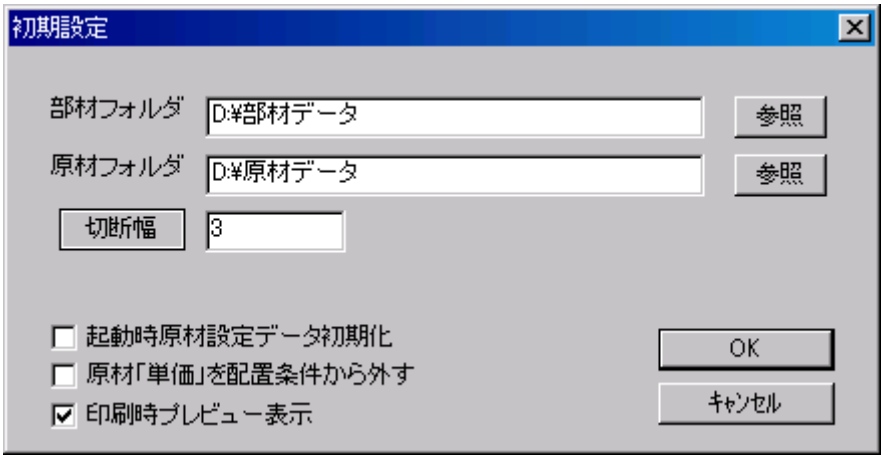
追加ボタンを押すと、さらに下記のようなデータ入力ダイアログボックスが表示されます。



現材名	･･･	原材の名称を入力します。
材長	･･･	原材の寸法です。
本数指定	･･･	原材の本数を指定する／しないを選択します。
本数	･･･	原材の本数です。（本数指定がチェックされていないと入力できません。）
単価	･･･	原材の１枚の価格です。
優先	･･･	優先的配置をする／しないを選択します。
種類	･･･	現材の種類を指定します。同じ種類の部材しか配置できません。

４－６　初期設定

切断幅など、配置計算に必要な情報を入力します。
このコマンドを実行すると、以下の設定画面が表示されます。



部材フォルダ

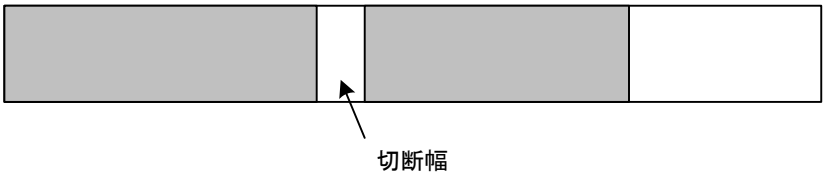
部材データを保存しているフォルダを指定します。
参照ボタンを押すことで一覧から選択可能です。

原材フォルダ

原材データを保存しているフォルダを指定します。
参照ボタンを押すことで一覧から選択可能です。

切断幅

実際にカットするときの切断幅を入力して下さい。
配置計算するときに、この寸法分を離して配置します。



原材単価を配置条件から外す

ここをチェック（ON）すると、複数の原材を選択している場合、原材の単価を配置条件から外して計算を行います。

起動時原材データ初期化

ここをチェック（ON）すると、起動時に原材のデータが無い状態になります。
チェックが無い場合（OFF）は最後に利用した原材のデータになります。

印刷時プレビュー表示

ここをチェック（ON）すると、印刷する前にプレビューが表示されます。

４－７　状況依存のヘルプ

切断自動配置ソフト のさまざまな部分についてのヘルプ情報を表示します。ツールバーの［状況依存のヘルプ］ボタンを選択すると、マウス ポインタの形が矢印と疑問符を組み合わせたものに変わります。この状態で、ツールバーの他のボタンなど *切断自動配置ソフト* のウィンドウの部分をクリックすると、その部分に対応するヘルプ情報が表示されます。

４－８　バージョン情報

切断自動配置ソフト のバージョンや版権などについての情報を表示します。

４－９　アプリケーションの終了

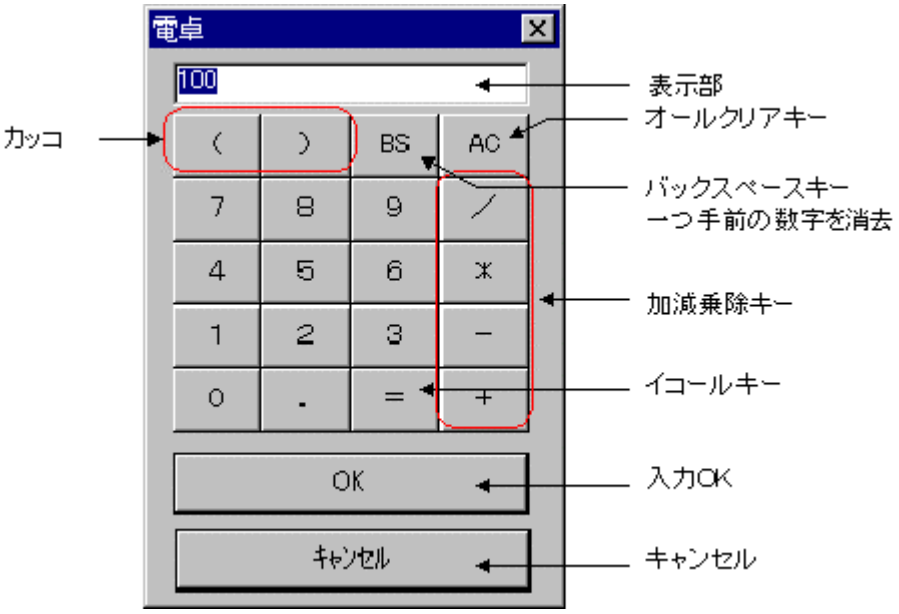
切断自動配置ソフト の作業を終了します。アプリケーション ウィンドウのコントロール メニューにある［閉じる］コマンドを使って作業を終了することもできます。
終了すると現在入力されている部材データは全て消去されます。
原材データや切断幅情報などの設定は現在の状態で保存されます。

５．電卓機能

数値入力の場面では、通常はパソコンのキーボードから入力を行いますが、画面に擬似電卓を呼び出してマウスのクリック作業にて入力することができます。
簡単な四則演算機能も利用することができます。

使い方
数値入力のあるダイアログボックスでは、数値入力の部分をクリックすればキーボードから入力することができます。
このとき、その入力項目名の部分をクリックすると電卓が表示されます。

通常の電卓を使うようにマウスにて値数して、最後にOKを押してください。
計算が必要な場合には、＋－＊／（加減乗除）を使って計算し＝（イコール）で答えを出してからOKします。



６．外部でデータを作成する場合の注意点

部材および原板データはテキストファイルであるため、*切断自動配置ソフト* 以外で作成または変更することが出来ます。
それぞれCSV形式（各項目をコンマで区切ったデータ）のファイルです。
以下に各データのフォーマット（ファイル仕様）と例を記します。

部材データ

項目	データ内容	例	
		Ｎｏ１	Ｎｏ２
部材名	部材名データ	テスト１	テスト２
材長	材長データ	４００㎜	２００㎜
種類	種類データ	１０㎜	１０㎜
本数	本数データ	８本	１２本

上記例のデータで作成したファイル
テスト1,400.0,1Ｏ㎜,8
テスト2,200.0,1Ｏ㎜,12

原材データ

項目	データ内容	例	
		Ｎｏ１	Ｎｏ２
原材名	原材名データ	原材１	原材２
材長	材長データ	９００㎜	１２００㎜
種類	種類データ	１０㎜	１０㎜
単価	単価データ	２２５０円	５０００円
本数指定	無しの場合は0、有りの場合は1	指定無	指定有
本数	「本数指定」が有りの場合はその数、無しの場合は不定で良い		３本
優先	しない場合は0、する場合は1	しない	する

上記例のデータで作成したファイル
原材１,900.0,1Ｏ㎜,2250,0,1,0
原材２,1200.0,1Ｏ㎜,5000,1,3,1

表計算ソフト（Microsoft　EXCEL等）で作成する場合は次のことに注意して下さい。
1、各データの項目はデータに含めないこと。
2、部材データの「部材名」「種類」および原材データの「原材名」「種類」のデータにコンマを入れないこと。
3、最終的にCSV形式でファイル登録すること。

7．ハードプロテクトについて

本製品は下記の理由からハードプロテクトユニットを装着した状態で使用します。

①不正コピーによる複数システム運用の防止
②正規ユーザー様におけるシステム変更時の便宜

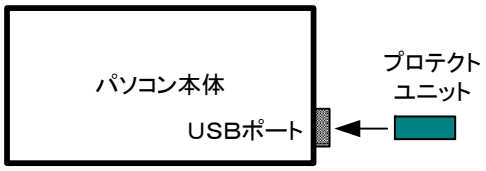
ハードロックユニットについて

ハードロックユニットは1システムにつき1個添付されています。
同時に2つのシステムで運用することはできません。

ハードロックユニットが無い状態でシステムを運用すると、***切断自動配置ソフト*** を起動した時点で以下のメッセージが画面に表示されて、次の作業に進めなくなります。

ハードロックユニットの接続方法

ハードロックユニットは、下図のようにパソコン側のＵＳＢポートに直接接続させます。
パソコン側にＵＳＢポートが複数ある場合、どのＵＳＢポートにハードロックユニットを接続させてもかまいません。



ハードロックユニットの管理について

ハードロックユニットはソフトと一体のものです。
したがってハードロックユニットだけの別途販売は致しませんので、紛失、盗難等に遭わないように十分な管理を行って下さい。

★備考

製品の輸送途中におけるハードロックユニットの破損、あるいはハードロックユニット自体に不具合が認められた場合は、修理扱いとして対応いたします。

Ｗｉｎｄｏｗｓは米国マイクロソフト社の登録商標です。
製品名は各社の商標、または登録商標です。

切断自動配置ソフト マニュアル

２００６年　１０月　　初版

合同システムマシン株式会社
〒４３３－８１０５ 静岡県浜松市北区三方原町７８５－５
ＴＥＬ　（０５３）４３７－７８１１ （代）
ＦＡＸ　（０５３）４３７－３６２２